社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和07年12月23日

計画の名称	快適諫早汚水処理施設整備計画												
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度　(5年間)									重点配分対象の該当			
交付対象	諫早市												
計画の目標	下水道を整備することにより、生活環境の改善及び公共水域の水質保全を図り、循環型社会の形成や地球規模での環境保全を推進する。 また、適切な維持・管理・防災・減災対策及び経営の効率化を推進し、長期的に継続可能な下水道の実現を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	2,010	A	2,010	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R２当初	R４末	R６末
1	し尿・浄化槽汚泥受入施設の整備率を０％（Ｒ２当初）から１００％（R６末）に向上させる。			
	し尿・浄化槽汚泥受入施設の整備率 し尿・浄化槽汚泥受入施設を整備した処理場の数（箇所）／し尿・浄化槽汚泥受入施設の整備が必要な処理場の数（箇所）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000703242

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	諫早市	直接	諫早市	終末処理場	新設	下水道広域化推進総合事業	し尿・浄化槽汚泥受入施設汚泥処理施設	諫早市	■	■	■	■	■	1,910	1.76	－
	A07-002	下水道	一般	諫早市	直接	諫早市	－	新設	効率的な事業実施計画の策定	基本計画の見直し	諫早市		■	■	■	■	100		－
											小計						2,010		
											合計						2,010		

案件番号： 0000703242

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
諫早市上下水道局にて、事後評価を実施。	事業終了後
	公表の方法 諫早市ホームページに記載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道管渠の整備により、生活環境の改善及び公共用水域の水質改善を図り、循環型社会の形成や地球規模での環境保全に寄与できた。 また、ストックマネジメント、施設の耐震化や耐水化についても併せて取り組むことで、持続可能な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減に寄与できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き下水道の整備により、生活環境の改善及び公共用水域の水質改善を図り、循環型社会の形成や地球規模での環境保全を推進する。
また、適切な維持・管理・防災・減災対策及び経営の効率化を推進し、長期的に継続可能な下水道の実現を目指す。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	し尿・浄化槽汚泥受入施設の整備率を０％（Ｒ２当初）から１００％（R６末）に向上させる。		
	最　終 目標値	100%	資材入手難などの理由により事業進捗に遅れが生じたため、令和６年度の完成を１年先送りし令和７年度としたため。
	最　終 実績値	0%	

案件番号：0000703242